





入学式での「新入生代表の言葉」と、「在校生代表の言葉」をご紹介します。

※「1学年だより」と「3学年だより」で、ご紹介した内容の再掲載です。



## ○ 誓いのことば ～ 挑戦できることにワクワクしています ～

春のあたたかさを感じる季節になり、桜の花びらが風に舞う中で、今日、入学の日を迎えました。今、この標準服を着て、改めて中学生になったのだと実感しています。新しい環境に入ることに少し緊張もありますが、それ以上にどんな三年間になるのかという楽しみを強くもっています。

中学校では、今よりも勉強が難しくなるだけではなく、部活動や行事が盛んに行われていると聞いています。勉強では特に数学を頑張りたいです。小学生の時は算数が苦手でしたが、復習を積極的に行い苦手な所を少しずつ克服していきます。そして部活動ではどの部に入部するか決めていないので、色々な部活を体験してみたいと思っています。最後に行事ではスキー移動教室が楽しみです。スキーはこれまで体験したことがないので、挑戦できることにワクワクしています。みんなと協力しながら取り組むことで、良い思い出になると思います。一生懸命がんばりたいです。

これからの三年間、分からないことも多いと思いますが、先生方や先輩方に教えていただきながら、一日一日を大切に過ごしていきたいです。また、日々の生活を通して自分にできることを増やしていけたらと思います。そして、新しいことへの挑戦を恐れず、中学生としての自覚をもち、勉強や部活動、学校行事に全力で取り組んでいきたいです。

新入生代表 生徒



## ○ 歓迎のことば ～ 自分を信じ挑戦することの大切さ ～

あたたかな日差しが降り注ぎ、すっかり春らしい陽気となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私達在校生は、共に学び合える日々をととても楽しみにしていました。

これからの中学校生活を心待ちにしていた人もいれば、環境が変わることを不安に思っていた人もいるでしょう。けれども心配はいりません。中学校には私達頼れる二、三年生がいます。「先輩」として皆さんを支えていきます。私もその一人として、五中の誇れる伝統や学校生活について、いくつかお話しします。

まずは清瀬第五中学校の伝統「あいさつの五中」です。あいさつは、日常生活で信頼関係を築くためにも必要不可欠なものです。私が最初この学校に足を踏み入れた時、先輩方は笑顔で挨拶をしてくれました。その笑顔で私は緊張が和らぎ大きな喜びを感じたことを覚えています。皆さんも在校生同士はもちろんのこと、登下校や廊下で、先生方や来校者の方とすれ違うとき、校外で地域の人と会ったときなどは、積極的に挨拶をしましょう。

また、五中には私達が特に力を入れている二大行事があります。一つは運動会、もう一つは合唱コンクールです。どちらも実行委員を中心に、私達生徒が主体的に作り上げていきます。全員が全力で取り組み、団結力が高まるこれらの行事は、五中の誇れる伝統です。

次に学習についてお話しします。中学校では科目ごとに担当の先生が変わります。内容も幅広く、授業の進み方も速くなりますが、より深い学びが得られます。学期に一、二回の定期テストがあり、習った内容をしっかり理解できているか確認します。テスト範囲も広いので、まず毎日の授業を家でしっかりと復習する習慣を身に付けましょう。

最後に皆さんが学校生活の中で関心が高いであろう部活動です。先輩・後輩の絆が深まったり、励まし合い高め合える仲間作りができたりします。部活動説明会や仮入部を通して、三年間継続できる部活動を見つけてください。

学校生活を送るなかで私は「自分を信じ挑戦することの大切さ」を知りました。新入生の皆さんも、目標をもち何事にも全力で取り組んでください。必ず自分を大きく成長させることができます。

今ある五中の素晴らしさや誇るべきもの。これまで先輩方が、学校をもっと良くしたいとの思いで築いてきたものです。それが伝統や文化となり受け継がれてきています。

皆さんも今日からこの清瀬第五中学校の一員です。瞬く希望の星のように、一人一人が活気ある学校生活を送れるよう、共に努めていきましょう。

在校生代表 生徒

※ 家庭配布版では、氏名をご紹介します。